

令和5年8月24日

令和4年度 特別の教育課程の実施状況等について

東京都		
学校名	管理機関名	設置者の別
武蔵村山市立第八小学校	武蔵村山市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学校名	自己評価結果・学校関係者評価結果の公表ウェブサイト名・URL等
武蔵村山市立第八小学校	https://www.city.musashimurayama.lg.jp/school/mmced8s/2001757.html

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

日本人としての誇りをもって国際社会で生き抜く実践力を育むため、特別の教科道徳を「徳育科」として再編し、道徳科の指導内容に加えて、礼儀作法の実践的指導案及び教材作成、評価の在り方についての研究開発の結果として生み出した特別の教育課程である。

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

社会全体で地域コミュニティの希薄化が問題となっている。また特に近年 SNS の発達や感染症対策により、直接に人と関わり合う機会の減少が懸念されている。これまで継続して「徳育科」の実践により、コミュニケーションの基礎となる礼儀・挨拶が充実し、よりよい人との関わり方が広がった。これまで培ってきた徳育科の学びを生かしながら、現状の課題に向き合いながら心豊かな児童育成を図っていく。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

これまで継続した「徳育科」実践により、教育課程の編制、計画、実施、児童の変容など本校の特色ある教育活動として定着している。転入してきた教職員には、年度当初にOJTなどで徳育科について説明し、年間を通して共通理解を図る場を設けている。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・実施している
- ・実施していない

<特記事項>

年度当初に保護者会を開催し、特別の教育課程に関する説明を行っている。

また、年に1度徳育科授業地区公開講座を開催し、授業参観や特別講師による講演の実施した上で意見交流の場を設けている。

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

礼儀やマナーなどよりよく生きるための言動や振舞い方についてよく考え、日常生活の中で実践できている児童が増えている。特に「自分からすすんで挨拶をする」ことについての定着が高まり、廊下で出会うと立ち止まって挨拶するといった作法を意識した児童が増えてきている。一方で「主体的に集団や社会に働きかける」というところでは若干の課題が見られる。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

学校評価において、徳育科に関連した項目において、90%の達成率となっている。また児童の意識調査では、全学年の肯定的評価が高くなってきている。一方で、どの学年も自己肯定感が低いことが課題である。

5. 課題の改善のための取組の方向性

主として、徳育科の授業を通して「あいさつ」の必要性について考え、「主体的に集団や社会に働きかける」ために、具体的な行動を見据えた考えをもてるよう話し合わせていく。そして委員会活動や係・当番活動を通して、「人の役に立つ体験」を重ねさせ、自己肯定感を育てていく。